

港区白金地区

「新たな教育のスタイル」の実施校(仮称)の構想(案)

デジタルの力で、学びを究める進学校

～自分を磨いて、白金から世界へ～

令和8年2月

東京都教育委員会

概 要

1 新たな学校の開校と、本校の位置づけ

「新たな教育のスタイル」の基幹校(プロトタイプ校)として令和11年度に開校

2 育成する人材と進路イメージ

【人材像】 **世界に飛び出し、生き抜く**人材、新しい未来を創るイノベーター人材

【進路】国内外の最難関大学、高校時代に究めたことを一層研究

3 教育方針

自己デザイン

創造

協働

4 「プラチナ・カリキュラム(仮称)」の特徴

01 自己デザインによる学びを叶える <ハイブリッドシステム、自由選択科目>

02 自分の「究めたい」学びを深める <探究学習＋反転学習>

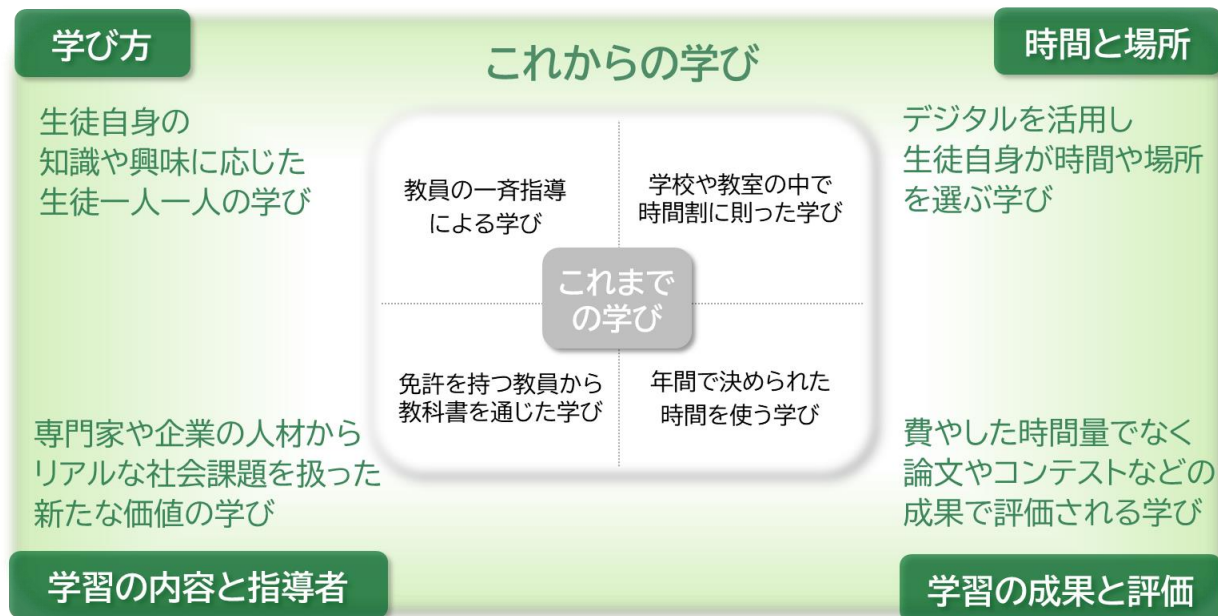
03 生徒の学びを支える伴走 <教員のマインドチェンジ、LMS、1on1メンター>

1 新たな学校の開校と、本校の位置づけ

都立新国際高等学校(仮称)は、その理念や専門家意見を踏まえて「新たな教育のスタイル」を実施する学校としてバージョンアップします。

日常的な「AI」の活用

「グローバル・リーダー」との交流



これらを本格的に実現し、「新たな教育のスタイル」の基幹校(プロトタイプ校)として令和11年度に開校します

「新たな教育のスタイル」の実施校(仮称)

港区白金地区の「新たな教育のスタイル」の実施校(仮称)

デジタルの力で、学びを究める進学校 ～自分を磨いて、白金から世界へ～

育成する人材

柔軟で自由な発想で、世界に飛び出し、生き抜く人材

必要な仕組み

自らの学びを設計し、「AI」と「グローバル・リーダー」の力を結集して最後までやり抜ける学びの仕組み

多様な価値観を受け入れ、新しい価値を創るイノベーター人材

必要な仕組み

国際交流、スタートアップとの連携等により国際社会の貢献に資する自分の「究めたい」を徹底的に学べる環境

進路イメージ

グローバルに貢献できる先端人材

国内外の最難関大学
(リベラル・理工等)へ進学

新たな価値を創造するイノベーター人材

高校時代に究めたことを
一層研究を続けていく

港区白金地区の 「新たな教育のスタイル」の実施校(仮称)

デジタルの力で、学びを究める進学校 ～自分を磨いて、白金から世界へ～

教育方針

自己デザイン

- ✓ 興味・関心を起点に
自ら選び、決める力
- ✓ 幅広い視野と
柔軟な思考力

創造

- ✓ 論理的思考力、
本質を見抜く力
- ✓ 興味を起点とした
新たな価値創出

協働

- ✓ 多様な価値観を
柔軟に受け入れ
- ✓ 社会参画意欲、
新しい未来の創造

日々進化する「AI」と「グローバル・リーダー」の力を結集して

「プラチナ・カリキュラム(仮称)」で実現します。

※グローバル・リーダー:ノーベル賞受賞者やユニコーン企業の創業者等のグローバルで活躍する人材

特徴01

自己デザインによる学びを叶える仕組み

✓「AI」や「グローバル・リーダー」の力を結集して、様々な学びを掛け合わせたハイブリッドシステム

リアル

×

デジタル

全日制

×

通信制

✓「通学」と「いつでもどこでも」のクォーター型の運用で、国内外への留学も視野に



通学期

通学が基本の全日制的学び

協働学習の充実・コマ数縮減

	月	火	水	木	金
1コマ	現代文	地理	歴史	公共	数学I
2コマ	理科①	現代文	言語文化	情報	言語文化
3コマ	地理	芸術	公共	歴史	情報
4コマ	体育 or家庭	理科②	数学I	データサイエンス	GIL
5コマ (14:00)	英語I	英語I	GI哲学文化	GIL	GIL
放課後	✓ 次回授業に向けた事前学習 ✓ リアル授業では取り上げない単元の自学自習				

学びを支えるツール例



知識を測る
デジタルテスト(CBT)



思考を深めるヒント
AIコンテンツ



学びの記録を蓄積し
教員と対話するLMS

自己選択期

デジタルを活用した柔軟な通信制の学び

	月	火	水	木	金
1コマ	✓ 自分で学習を組み立て ✓ 得意や苦手に応じた 自由進度学習				友達と探究学習
2コマ					
3コマ					自宅学習
4コマ	苦手教科は授業	教室で友達と議論			外部講座
5コマ	興味ある授業	教室コモンスペースで 自学自習			先生に質問

放課後は学校内外で自分に合う学習

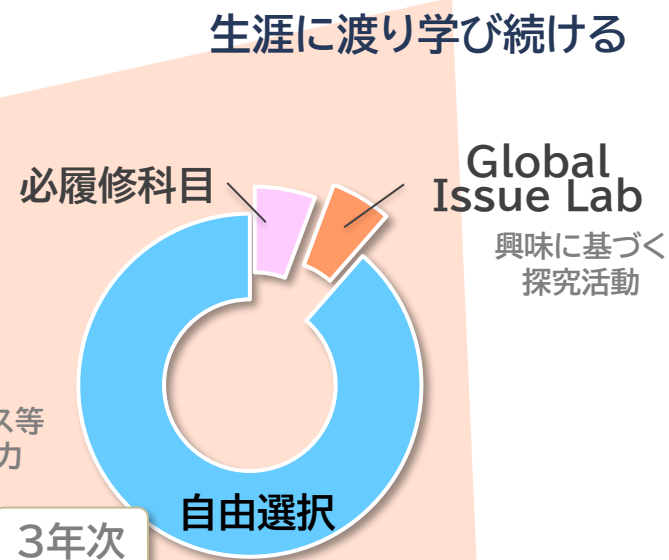
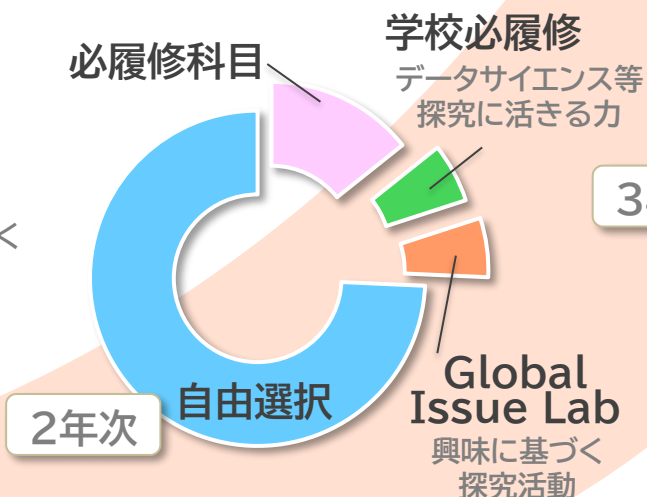
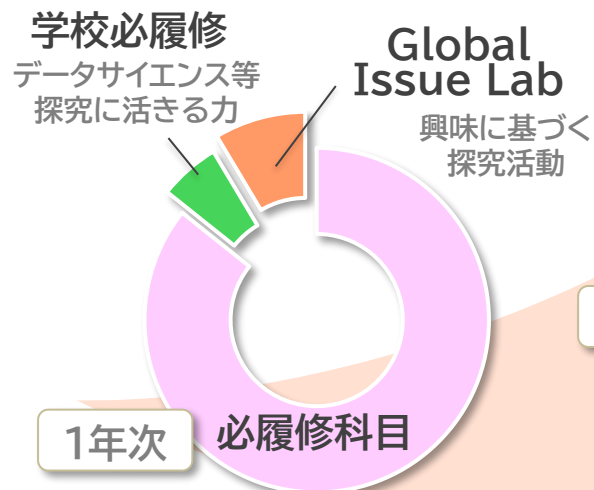
特徴01

自己デザインによる学びを叶える仕組み

✓ 自由選択の幅を拡大し、「好き」や「得意」を伸ばす

Global Issue Lab:総合的な探究の時間

確かな学力を身に付けてから
「究めたい学び」へ段階的に移行



「究めたい学び」

- ✓ 自由選択の幅が
年次進行で拡大
- ✓ 得意や興味関心を伸ばす

「必要な学び」

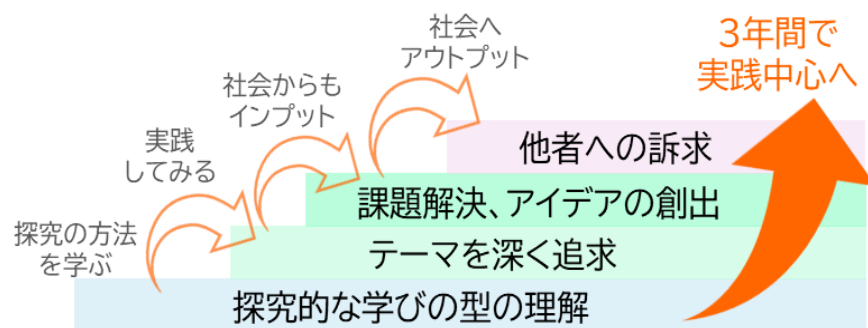
- ✓ ミニマムスキル
の必修科目
- ✓ 探究的な学び
の基礎力

ノーベル賞受賞者やユニコーン企業の創業者等の
「グローバル・リーダー」からの学びの機会を創出

特徴02

自分の「究めたい」学びを深める仕組み

✓ 学びの基盤となる探究的な学び



✓ 型を学ぶ

自由に探究

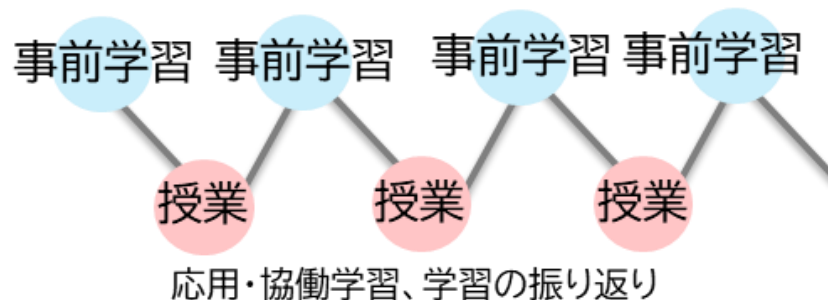
アウトプット の3段階学習

外部の提供プログラムの活用や
実社会とつながった活動を検討

✓ 効率的で生徒主体の学びを作る反転学習

【反転学習とは】

授業前に「事前学習」としてのインプットを重要視し、
授業では、対話や協働を通じて理解を深め定着する学習



- ✓ 「AI」の力も活用した事前学習で、
「自分のペースで個別最適な学び」と
「生徒同士でより深める協働的な学び」の循環

- ✓ デジタルテスト(CBT)で知識を測る

探究的な学び方を取り入れ

探究的な学び



反転学習

習得した知識を活用

特徴03

生徒の学びを支える伴走の仕組み

➤ 伴走者としての 教員の役割

マインド
チェンジ

従来

- ✓ 教室の中での一斉指導
- ✓ ティーチングが中心



✓ コーチング

学びを選択するプロセスを支援

生徒によって学びのプロセスは様々

学習計画
が苦手

学習計画を
助けるヒント
社会とつながる
きっかけを提供

社会と
関わりたい

1人で学ぶ
方が好き

さらなる
教材配信等

LMSでつまづき
を把握・支援

苦手な教科
が心配

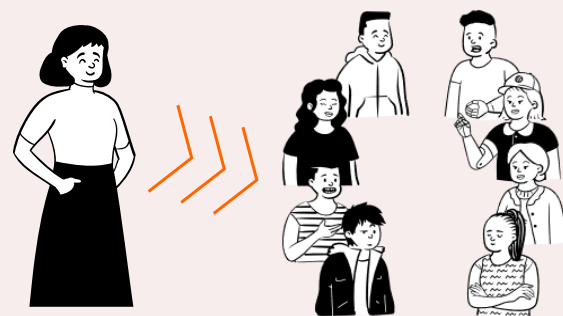
教員



生徒

✓ ファシリテーション

生徒中心の協働学習を支援



互いの価値観を受容し
自らの考えを深める議論を促進

教員が意図的に発揮すべき能力を育成し、
先導的な教員を配置

➤ 学習を可視化する 学習管理システム(LMS)

- ✓ 主体的に学習計画を立てるシステム
- ✓ 教員との対話により学びの意欲を向上

教材機能

学習管理機能

コミュニケーション機能

- ✓ AIを活用した学習のサポート

メンター

➤ 全生徒が1on1で相談可能な パーソナルメンター機能

- ✓ 外部人材を活用し、学習方法や進路などの悩みの相談
- ✓ 教員と密に連携を取り、多角的に支援